

## LPガスCP情報(2016年5月積み)

### 1. 5月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **325** 円/ℓ (前月比+ 5 円/ℓ)

ブタン **380** 円/ℓ (前月比+ 30 円/ℓ)

#### ① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が急騰する中、LPガススポット市況も続伸した。需要は中国、インドネシア、タイ、台湾など堅調であるのに対し、一時米国からのアープのウィンドウが閉じややタイト感に。フレート市況の軟化でFOBスポットに引き合いが強まり、極東CFR市況も連れ高、第4週はプロパン350円/ℓ、ブタン390円/ℓどころ。一時CP+35円/台まで上げたがCP+20円/台半ばが中心。ナフサは原油市況に連れ続伸、月間平均では390円/ℓ、前月比23円/ℓの上昇となったが、ブタンも高く石化の需要は限定的。バンカーオイルは、月間平均では188円/ℓ、前月比11円/ℓの続伸。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格は、需要期終了で全米プロパン在庫が増加したものの原油市況の急騰を受けて続伸し第4週末はプロパン245円/ℓに戻っている。NWE(北西ヨーロッパCIF)市況は原油市況に追随し堅調に推移、第3週末には上昇し、プロパン300円/ℓ、ブタン310円/ℓどころ。

5月CPは前年同月比プロパン140円/ℓ、ブタン95円/ℓのそれぞれ下落。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン10ポイント、ブタン12ポイント下落。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	28	27	27	29	28
CP先物指標：P	310	315	315	325	316
CP先物指標：B	335	340	345	365	346

#### ② 原油市況等

WTIは4月36円/台でスタート、27日には昨年11月以来の45円/台を回復した。4月17日開催の主要産油国による会合を前に増産凍結への期待感から11日には40円/台を回復、増産凍結合意は6月のOPEC総会まで見送られたが、石油掘削リグ稼働数が減少、米国原油生産量は減産が続き2014年10月以来の900万バレル割れとなり供給超過解消への期待が高まった。ただ、全米原油在庫、クッシング在庫は記録の高水準に達し、増産凍結についてもイランの参加は見込めず、サウジ、ロシアの1月生産量は過去最高水準にあることから今年中の需給バランス均衡へは懐疑的な見方も強い。一方、NYMEXのWTI総取組高は27日時点で171万枚、前月末比3.5万枚の減少。大口投機玉の買越残高は19日で33.4万枚と前月比3.4万枚の増加、売建玉が手仕舞われ減少。

○4月積みアラビアン・ライト(4月1~29日)は38.50円/ℓ(前月比+3.81円/ℓ)

熱量等価AL100% プロパン315.66円/ℓ<sup>ト</sup> ブタン311.33円/ℓ<sup>ト</sup>

AL比 プロパン102.96% ブタン122.06%

\*上記アラビアン・ライトはE I N推計値、確定値は後日、Webサイトでご確認ください。

### 2. 2016年5月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	111.72	36,000	40,800	+1,200	+2,600
26~25日②	111.32	35,900	40,600	+1,100	+2,400
1~28日③	110.83	35,700	40,500	+900	+2,300

\*TTS平均は①が3月21日~4月20日まで、②は3月26日~4月25日

③は4月1~28日、①、②、③ともに5月仕切適用。①、②、③いずれも

前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。